


観光社会資本の事例

テーマ	港湾文化の保全と借景を活かした港湾空間の形成	
【施設の状況写真】		
		
鹿兒島港のシンボリックな機能をもつ緑地として整備されている。	緑地内には、歴史的価値の高い港湾施設が残っている。	
【施設の利用写真】		
		
毎年、緑地を利用して「かごしまウォーターフロントフェスティバル」が開催されている。	ウォーターフロントフェスティバルのイベント「イルカ遊泳一般公開」	
【観光資源としての利用状況】		
鹿兒島港本港区緑地は、桜島を取り入れた景観に配慮した整備に加え、薩摩藩政時代に築造された歴史的価値の高い石積み防波堤を保存活用した整備がなされている。		
周辺には、フェリーターミナルや水族館などがあり、フェリー利用者や観光客の憩いの場として、にぎわいをみせている。		

テーマ	港湾文化の保全と借景を活かした港湾空間の形成
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 鹿兒島港本港区緑地</p> <p>所在地 鹿兒島県鹿兒島市本港新町</p> <p>事業名 鹿兒島港港湾環境整備事業(緑地等施設)</p> <p>事業主体 鹿兒島県</p> <p>事業期間 平成3年度～平成14年度</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>港湾の特徴を活かした親水性の高い良好な空間の形成</p> <p>歴史的文化遺産や桜島など周囲の自然と調和した景観に配慮した親水性の高い快適な空間として、市民、観光客に利用されている。</p> <p>鹿兒島港では観光の他、日常交通として船舶が利用されていることから、船舶乗降客数は全国1位を誇る。緑地前面の本港地区からは、世界遺産の屋久島や奄美諸島、桜島などへの交通結節点であり、フェリー利用者や観光客にとっての憩いの場としての空間を創出している。</p> <p>緑地を利用した「鹿兒島ウォーターフロントフェスティバル」などのイベントが開催される他、緑地内に年間200万人の来場を見込む新たな商業施設が開業し、今後ますます市民や観光客の利用が期待される。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 鹿兒島県 http://www.pref.kagoshima.jp/home/kanrika/pr/index.htm/ 国土交通省九州地方整備局鹿兒島港湾・空港整備事務所 http://www.kagoshima-p.go.jp/</p>	